



## 安全で安心して過ごせる環境

1学期も残すところ5日となりました。例年よりかなり早く梅雨明けし、毎日暑い日が続いていますが体調を崩していませんか。栄養、水分そして睡眠をしっかりとり、1学期のしめくくりをしていきましょう。生徒の皆さんが笑顔で元気で1学期をしめくくることを私は願っています。

さて、5月26日に発行した学校だより第2号の中で、めざすべき学校像の一つに「安全で安心して過ごせる学校」を掲げています。登下校中の安全の確保はもちろんですが、生徒の皆さんが授業、委員会活動部活動や学校行事などの様々な教育活動に生徒の皆さんが安心して取り組めるようにと先生たちも一丸となって努めてきました。そこで、1学期の自分の様子を振り返って見てください。

皆さんが所属する学年、学級、部活動または委員会等の中での「先輩後輩の関係」や「友だち関係」などの人間関係は良好ですか。困ったことがあって、悩んで一人で抱え込んでいませんか。

もちろん、自分で解決することは大切ですが、「自分は困っています。助けてください。」と信頼できる人に相談するという視点も大切です。まずは、**自分(身体・生命・心)を大切に**するために様々な方法を使って、解決することを最優先に考えてほしいと思います。

今学期、私はできるだけ時間を見つけては正門の前に立って朝は挨拶で出迎え、下校時は部活動終わりの皆さんを笑顔で送り出すようにしています。その時に「**また明日**」と声を掛けることもあります。それは、生徒のみなさんが「明日も毎日笑顔で登校し、笑顔で学校生活を過ごしてくれたら」との思いを込めて声を掛けています。これからも学校がますます安全で安心して過ごせる場所になり、皆さんが持っている可能性を磨く教育環境になるように校長として努力していきます。

話は変わりますが、今年(2025年)は、太平洋戦争の終戦から80年の節目の年にあたります。そして、今年も8月6日(水)には広島で、9日(土)には長崎で「原爆犠牲者平和祈念式典」がそれぞれ開催されます。さらに、15日(金)には戦争犠牲者を追悼する「全国戦没者追悼式典」が行われます。明石市は、終戦の年にあたる昭和20年1月19日に最初の空襲を受けています。この空襲は兵庫県下への最初の本格的空襲でした。6月には3回にわたり米軍の空襲にさらされました。このように、明石市は延べ6回空襲をうけ、全市街の約61%を焼失するとともに多くの尊い生命が失われることになりました。

一方で、国外に目を向けると現在もウクライナやガザなど世界では戦争状態が続いています。

また、先月の13日はイスラエルがイランの核関連施設などを空爆し、これに対してイランは弾道ミサイルなどをイスラエルに撃ち込み反撃しました。21日にはアメリカ合衆国がイラン核施設への攻撃を行っています。このように現在の国際情勢は不安定化が進んでいます。

私自身は戦後生まれて、戦争を体験したことはありません。しかし、これまでの教科指導、祖父の従軍体験や戦争に関する書籍等を通して、戦争の悲惨さを風化させないことの重要性を実感しています。「安全で安心な世界(日本)づくり」について今後も思索していこうと思います。

★参考文献：明石市史編さん委員会編「明石市史現代編I」P4～P12より

